

「創意と活力」のある学校づくり推進事業報告書  
 春日井市立 神屋小 学校  
 校長 佐藤 幸子

事業テーマ	「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指した学習環境づくり」
取組の目的	「児童が主体的に学ぶ」授業の実現を目指して授業研究をしました。教師が意図的に進める「指導」と児童が自律的に学ぶ「支援」を有機的につなげ、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させるという点に焦点を当てました。
区分	新規事業 継続事業（総事業年数 年間、 年目）

今年度の取組の様子



服部先生の講義とワークショップ



「個別最適と協働」をデザインした授業



バディによる授業参観



参観後の意見交換の様子

取組の成果

学習環境のデザインに注力しました。研修を通じ、授業を「山登り」に例えた4つの授業スタイル（①先生主導～④子ども主導）の共通理解が深まりました。教師が知識の伝達者から「学びの場をつくる人」へと役割を変えることで、児童が自らルートを選択し、仲間への貢献に価値を見出す「質の高い学び」の姿が見られました。

課題

自由度の高い学習環境において、児童が「自分で決める」ことに慣れるために「自己尊重」「他者尊重」の態度を確立していくことです。次年度は、これまでに培った「見方・考え方」の視点を土台としつつ、児童一人ひとりが自らの学びを高度にデザインできるよう、ICTの活用を含めた環境整備を推進します。児童が「失敗を恐れず挑戦できる」集団づくりと、教師の「伴走者」としての専門性向上を両立させ、個別最適な学びと協働的な学びをさらに深めていきます。